

立花生徒会新聞

signal通信

signalの意味
「信号」
思いやりの
ある学校へ

平成28年
4月11日 月曜日
第4号
尼崎市立立花中学校
生徒会新聞

入学

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日から、中学校という新しい生活が始まります。皆さんの心にはどのような思いが浮かんでいるでしょうか。中学校の勉強にはついていけるだろうか、初めての先生方や違う小学校だった友達と上手に生活していけるだろうか、部活動や行事などはどのようなものなのだろうか、そんな期待と不安を抱えているのではないのでしょうか。私達も一年生の頃は、同じような気持ちを抱えて中学校に入学してきました。しかし、中学校生活が始まると、新しい友達との出会いや先生方の支えなどもあり、徐々に環境にも慣れていけるので自信を持って安心して学校生活を送ってください。二学校の勉強は小学校の頃よりも難しい、というイメージがあると思います。自分たちはちゃんとついていけるだろうか、と不安に思っている人も少なくはないと思います。しかし、最初のうちは、小学校でも習っていたことの応用などが多く、分からなくなっても

立中の生活

今日から立花中学校の一日となった新一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。中学校になり、新しい生活を楽しく過ごしている人、これからの中学校生活を不安に思っている人、とがいろいろあります。多いと思います。なので、今回はこれからの中学校生活をより楽しく送るための「ひけつ」をお伝えしたいと思います。立花中学校では、毎朝正門にて生徒会執行部が挨拶運動を行っています。挨拶をする中で自分自身が清々しい気持ちになり、挨拶をされた人も気分が良くなります。また、皆さんは校内で来賓の方と会った時、知らず知らずの内に「こんにちは」等の挨拶を言っていますか？それは社会に出た時には更に重要なこととです。今からでも遅くありません。意識せずに自ら

生徒会新聞

一年生の皆さんご入学おめでとうございます。みなさんが今、読んでいるこの新聞は、生徒会執行部が記事や見出しを作った、月に一回発行している生徒会新聞です。この新聞のタイトル「signal」も生徒会執行部で一年間全校生徒にどのように学校生活を送って欲しいか、様々な意見を出し合って決めました。この「signal」には「信号」という意味があり、一年生は赤、二年生は黄色、三年生は緑、それぞれの学年カラーにあてはまり、そして信号がないと危険が守れないのと同様に、誰かの命を思いついて行動できる立花中学校の生徒が増えれば良いなと思います。また、一人一人が司令塔のような役割を果たすことができれば良いなと思っています。このような思いが込められているのです。これからいろいろな学校行事があり、一年生は赤、二年生

ので、「こんな多いこと、出来ないじゃないか。」と思う人もいらっしゃるでしょう。大丈夫です。これからの中学校生活の一日一日を過ごしていく中で、きっと皆さんの体に身についていくはずですので、日々の生活を大切に、中学校三年間を有意義なものにしてください。休み時間は、次の授業の準備、四時目が終わると待ちに待ったお弁当です。昼食の時間は、放送委員が今人気の曲や、リクエストを流してくれます。そして、昼食が終わった一時から十五分間は昼休みとなります。小学校の生活とは一転、中学校では授業の時間が長くなったり、勉強が難しくなったりします。でも、ネガティブ思考にならず、最高の仲間と最高の時を共に歩んでいってください。

の新聞を読みたいという思いが生まれ、今の日本の現状が理解でき、知識を頭にに入れておくことで勉強になることもあると思います。社会に向かふときに、きつと皆さんの役に立つと思えます。読書好きな人も可也、本を読むようにこの新聞も読んでみてください。私達は今年度の生徒会新聞も毎月発行していきます。また、これからのこの伝統を後継に引き継いでいきたいと思います。皆さんも、ぜひ一度読んでみてはいかがでしょうか。ところで、みなさんは立花中学校に「T.O.T」という時間があるのを知っていますか？もし忘れていたら、この機会に思い出して下さい。T.O.Tとは「Tachibana Original Time」(立花オリジナルタイム)の略で、1時間目の授業が始まる前の10分間に読書をする時間のことです。私は、この時間を有効に使ってほしいと思います。なぜなら、家に帰ったら塾に行く人や、部活で疲れたから早く寝たいといった人たちが多くいると思うからです。それらのことに時間を割かなければならなくなり、中学校に入ってから、読書をする時間が減っていませんか？なので、この10分間だけでも夢中になって読書をしてみてください。図書室について、少しは知ることができましたか？中学校の図書室は小学校とは違っていて、多々あると思います。なので、たくさん図書室を利用して、読書をしてみてください！

図書室について

図書室の本は様々なジャンルがあります。映画化されたものでは「Orange」や「君に届け」、アニメでは描かれていない裏話が書かれている「One Piece」や「ハイキュー」、黒子のバスケ、ホラ、派の小説など様々です。そんな中でも、私のおすすめの本を紹介いたします。私のおすすめの本は「水族館ガール」です。この本は、一人の女性が水族館で働き、飼育員のしんどさや楽しさ、そして飼育員している生き物の特徴など、おもしろいことがたくさんつまっています。いつも水族館に行ったら、ときにはお客目線で生き物を見ていた私たちが、この本を読んでみると、水族館の裏話や飼育員目線での水族館など、本でしかわからないおもしろさがたくさんあります。水族館が好きかな人も苦手な人も、ぜひ一度読んでみてはいかがでしょうか。

新学期が始まりました。新しい学年となり、一年生は、勉強や学校生活に戸惑うこともあるかもしれませんが、ですが、気を引き締め、頑張ります。白瀬・大川・田中・藤田

編集後記